

佐川前国税庁長官・証人喚問関連 モニター報告

～放送を語る会・大阪～

放送局 NHK	番組名 N7
放送日時 2018年3月27日(火) 19:00 ~ 19:30	
番組中の証人喚問関連項目と放送時間 トップ項目 佐川氏“首相らの指示・関与なし” 14分17秒	
出演者名：司会・キャスター・コメンテーター・ゲスト（肩書き） アナウンサー 高井正智 鈴木奈穂子 政治部記者 長内一郎	
番組内容	
映像：ST・VTR・中継（配分時間）	音声：発言者・発言要旨
スタジオ アナ2ショット 「森友」文章改ざん 佐川氏“首相らの指示・関与なし” 佐川前国税庁長官 “安倍首相・夫人・官邸関係者の指示はなかった” “首相答弁受け省内・官邸と対応協議せず” “刑事訴追のおそれ”経緯など証言せず 午前9時前 財務省前理財局長 佐川前国税庁長官 佐川前国税庁長官 佐川前国税庁長官 自民党 丸川前五輪相 佐川前国税庁長官	こんばんは。ニュース7です。 【鈴木】まずは佐川前国税庁長官の証人喚問です。 財務省の決裁文書の改ざん問題を巡り、佐川氏は改ざんや森友学園との取り引きに、安倍総理大臣や夫人の昭恵氏、それに総理大臣官邸関係者の指示や関与はなかったと証言しました。 また去年2月に、安倍総理大臣が、私や妻が関係していたら、総理大臣も国会議員も辞めると答弁したことを受けて、財務省内や総理大臣官邸との間で対応を協議したことはなかったと説明しました。 【高井】一方、改ざんの経緯などについては、みずからが捜査対象であり、刑事訴追を受けるおそれがあるとして、証言を拒否しました。 【鈴木】佐川前国税庁長官は、何を語るのか。 【佐川】良心に従って真実を述べ何事も隠さず何事も付け加えないことを誓います。証人佐川宣寿 【鈴木】証人喚問は、参議院で午前9時半から始まりました。 【佐川】私とその決裁文章の書き換えいつどのように認識をしたかという事につきましては、私が捜査の対象であり刑事訴追を受けるおそれがございますので答弁を差し控えたい。 【鈴木】その上で。 【佐川】本件は理財局の国有財産部局における個別案件でございます。（財務省の）官房や官邸等からの指示もない、本件は理財局の中で対応したという事でございます。 【鈴木】各会派による尋問では。 【丸川】佐川さん理財局に対して、安倍総理からの指示はありませんでしたね。 【佐川】ございませんでした。 【丸川】安倍総理夫人からの指示もありませんでしたね。

<p>民進党 小川参院議員会長</p>	<p>【佐川】 ございませんでした。</p> <p>【丸川】 官邸官房長官、官房副長官、総理秘書官からの指示はありましたか。</p> <p>【佐川】 ございませんでした。</p> <p>【丸川】 麻生財務相からの指示は</p> <p>【佐川】 大臣からの指示もございませんでした。</p> <p>【小川】 「(首相) 官邸の指示がない」「総理の指示はない」いろいろ指示がない指示がないという話頂きました、「指示」ということではなく「協議」「連絡」「打ち合わせ」はどうですか。</p>
<p>佐川前国税庁長官</p>	<p>【佐川】 「指示」「協議」「相談」そういうものございませんでした。</p> <p>【鈴木】 去年の国会答弁で、学園側との事前の価格交渉を一貫して否定したことについては、こう述べました。</p>
<p>佐川前国税庁長官</p>	<p>【佐川】 「不動産鑑定にかけ、そういう価格について申し上げたことはない」と答弁しております。土地売却を行うとき、価格がどうなるか高い関心事そういう話になる。私自身の答弁は正しかったと考えております。</p>
<p>佐川前国税庁長官</p>	<p>【鈴木】 さらに、学園側との面会記録を廃棄したと答弁したことについて。</p> <p>【佐川】 丁寧さを欠いていたというのは間違いのない、当時理財局内は私も含めて(国会対応で)連日連夜朝までという日々でございまして、全くそういう余裕なかったというのが実態でございます。申し訳ございませんでした。</p>
<p>佐川前国税庁長官</p>	<p>【鈴木】 一方、みずから改ざんに関与したのかどうかなどについては。</p> <p>【佐川】 その点についても刑事訴追のおそれがあるので容赦願いたい。刑事訴追のおそれがあるということで、刑事訴追のおそれがあるということでございますので。私自身は今、捜査の対象でございますので。</p>
<p>共産党 小池書記局長</p>	<p>【鈴木】 刑事訴追のおそれを理由に、繰り返し答弁を拒んだ佐川氏。</p> <p>【小池】 答弁の根拠、その当時は改ざん前の文章それしかないんでしょう</p>
<p>佐川前国税庁長官</p>	<p>【佐川】 刑事訴追を受けるおそれがあるので答弁を差し控えたい。</p> <p>【議長】 速記を止めてください。</p>
<p>VTR与野党議員が議長席へ 審議中断も</p>	<p>【鈴木】 審議が中断する場面も見られました。</p> <p>【鈴木】 午後、衆議院に舞台を移した証人喚問。森友学園への国有地の貸し付けや売却を巡っては。</p>
<p>立憲民主党 逢坂誠二氏</p>	<p>【逢坂】 (不動産鑑定に出すとき) ゴミをどう算定とか、さまざまな要素が今回の事にはある。それらについても(首相や昭恵氏が)関わっていないとなぜ断言できるのでしょうか。</p>
<p>佐川前国税庁長官</p>	<p>【佐川】 事実関係を局内職員から聞いた上で答弁しておりますが、そういう中で総理とか総理夫人の話はなかったということでございます。</p> <p>【鈴木】 その上で佐川氏は、安倍総理大臣が去年2月に、私や妻が関係していたら、総理大臣も国会議員も辞めると答弁したことについて、この答弁を受けて、財務省内や総理大臣官邸との間で対応を協議したことはなかったと証言しました。</p>
<p>“真相明らかになったか”</p>	<p>【佐川】 総理の発言を元に何か協議したとか、そういうことはなかった</p> <p>【鈴木】 そして、証人喚問の終盤、真相が明らかになったと思うか聞かれたのに対し。</p>
<p></p>	<p>【佐川】 どういう経緯で誰がどう具体的に指示したかという点については答え</p>

<p>自民党 二階幹事長</p>	<p>ていないので、その点は明らかになっていないが、それは裁判・司法になる</p> <p>【高井】 証人喚問について、与野党は。</p> <p>【二階】 総理はじめ政治家がどう関わっていたかがひとつの焦点だったが、幸いにして（関与が）なかったことが明白になった。関与が深まったとか、さらに問題点があるとは思っていない。</p>
<p>公明党 山口代表</p>	<p>【山口】 財務局の中で行われたと、佐川氏自分自身に責任があるとはっきり認めた。一方で誰がどういう理由で行ったのかは証言を控えて触れなかった、極めて残念</p>
<p>立憲民主党 逢坂政調会長代理</p>	<p>【逢坂】 より疑念が深まったのではないかと、刑事訴追のおそれがあり答えないと、「犯罪のかけ」がちらついているということ、逆に明らかになったのではないかと、責任のすべてが理財局にある責任とるのは佐川さん1人であると、それで幕引きを凶ろうとしているように思えてならない。</p>
<p>希望の党 玉木代表</p>	<p>【玉木】 そんなたくに満ちあふれた証人喚問だったのではないかと、“官邸等の関与は無い”と言う一方で、誰が指示して何の目的でやったのかはすべて証言拒否、核心部分は全く解明されなかった</p>
<p>民進党 大塚代表</p>	<p>【大塚】 残念であり疑惑は深まった、佐川さんがあれだけ完全否定するというのであれば、関係者である（安倍）昭恵夫人（昭恵氏付き職員だった）谷查恵子氏、全部証人喚問が必要だと思う。</p>
<p>共産党 志位委員長</p>	<p>【志位】 ことごとく答弁を拒否する不誠実極まるものだった、“官邸からの指示は無かった”“総理夫妻からの指示が無かった”と繰り返したが、その根拠を示すことはできなかった。</p>
<p>日本維新の会 馬場幹事長</p>	<p>【馬場】 国民が疑問に思っている部分が解消されたことにはなっていない、再発防止策を超党派できちんと制度設計をやっていくべきだ。</p>
<p>自由党 小沢代表</p>	<p>【小沢】（佐川氏は）肝心なことはしゃべらないという前提で来ているのだらうと思います、きょうの証人喚問ではまったく納得できない。</p>
<p>社民党 又市党首</p>	<p>【又市】 立法府と主権者の国民をこの1年欺いてきた理由は何一つ語られず、疑惑はいっそう深まった。</p> <p>【高井】 菅官房長官は午後の記者会見で。</p>
<p>菅 官房長官</p>	<p>【菅】 国会で行われている証人喚問の件であります。その中で証言について政府としてのコメントは控えたい。（財務省において）捜査に全面協力するとともに、全容（解明に向けた）捜査が進んでいる。</p>
<p>改ざんは・誰が指示？</p>	<p>【鈴木】 では、佐川氏の発言をまとめます。まず、文書の改ざんは、誰が指示し、誰が行ったのか。</p> <p>佐川氏の発言のポイントはこちらです。</p> <p>安倍総理大臣や夫人の昭恵氏、麻生副総理兼財務大臣らの指示はなかった。改ざんは理財局内で行われた。</p>
<p>なぜ？</p>	<p>佐川氏は、責任はひとえに私にあると述べましたが、刑事訴追を受けるおそれがあるとして、改ざんを指示したのかどうかは証言しませんでした。では、次に、改ざんがなぜ行われたのかについてです。</p> <p>財務省は、佐川氏の国会答弁との整合性を取るためだったという見方を示していますが、佐川氏はこれについても、詳しい答弁を控えました。</p> <p>一方、こちら。去年2月、安倍総理大臣が、私や妻が関係していたら、総理大</p>

<p>元検事 落合洋司弁護士</p>	<p>臣も国会議員も辞めると答弁したことについては、これがみずからの答弁などに影響は与えていないうえ、安倍総理大臣の答弁を受けて、財務省内や総理大臣官邸との間に対応の協議は行ってないと証言しました。佐川氏が、刑事訴追を受けるおそれがあるなどとして答弁を拒否したケースは、きょう、少なくとも46回ありました。専門家は次のように話しています。</p> <p>【落合】証人喚問による真相解明についてはひとつの手段だが、相当限界があると感じた人が多いと思う、(検察は)捜査を本格的に文書改ざんについても踏み込んでいくか、そういうあたりをできるだけ速やかに方針を決定して、やるのであれば捜査を進めていくそういう状況にあると思う。</p>
<p>東洋大学 法学部 早川和宏教授</p> <p>長内一郎 政治部 “首相・夫人・官邸関係者らの指示や関与なかった”</p>	<p>【早川】公文書の書き換えは民主主義の基本を脅かすような事態であるわけで、なぜ起こりどのような経緯であったのか明らかにするような発言が望ましかった。公文書の管理は公文書管理法に基づいて規律されているわけですし、今後法改正も含め似たような問題が財務省だけでなく、他の省庁でも起こらないようにする検討を強力に進める必要があると思います。</p> <p>【鈴木】スタジオには、政治部の長内記者です。きょうの証人喚問を政界はどう受け止めたのか、聞いていきますけれども、まず政府・与党はどうですか？</p> <p>【長内】うその証言をした場合に偽証罪などに問われる可能性がある証人喚問で、佐川氏は、改ざんや森友学園との取り引きに、安倍総理大臣や夫人の昭恵氏、それに総理大臣官邸関係者らの指示や関与はなかったと明言しました。</p>
<p>与党内 “野党側は攻め手を失ったのではないか” “きょうが峠これを境に問題が少し落ち着いてくれれば”</p> <p>政府与党 大阪地検特捜部の捜査に協力 財務省の内部調査などで 全容解明急ぐ “事態を早期に収束させたい”</p>	<p>これについて与党内からは、野党側は攻め手を失ったのではないかという指摘や、きょうが峠だ。これを境に問題が少し落ち着いてくれればと期待する声も出ているんです。</p> <p>政府・与党としては、今後も大阪地検特捜部の捜査に協力するとともに、財務省の内部調査などによって、全容の解明を急ぎ、事態を早期に収束させたい考えです。</p>
<p>経緯などの証言 佐川氏拒む 野党側 ある程度折り込み済み “官邸関係者らの指示・関与なかった” “理屈が通らない” 反発</p>	<p>【鈴木】一方の野党ですけれども、反発していますね。</p> <p>【長内】野党側にとって佐川氏が刑事訴追を受けるおそれがあるとして、改ざんの経緯などについて証言を拒むのは、ある程度、織り込み済みでした。</p> <p>そうした中であって佐川氏が、安倍総理大臣や夫人の昭恵氏、それに総理大臣官邸関係者らの指示や関与はなかったと強調したことに、理屈が通らないと反発しているんです。</p>
<p>与党側 “あす新年度予算案を成立させ 働き方改革関連法案など国会審議を本格化”</p>	<p>【鈴木】そして、今後の与野党の動きですけれども、焦点は何になりますか？</p> <p>【長内】与党側は佐川氏の証人喚問が終わったのを1つの節目として、あす、新年度・平成30年予算案を成立させるのに続き、今後は働き方改革関連法案などの国会審議を本格化させ、態勢を立て直したいところです。</p>

野党側

“証人喚問で逆に疑惑は深まった”昭恵氏や迫田元国税庁長官らの証人喚問求める方針

これに対し野党側は、きょうの証人喚問で逆に疑惑は深まったと主張し、一連の問題の真相を解明するため、昭恵氏や売却交渉当時、理財局長を務めていた迫田元国税庁長官らの証人喚問を求めていく方針で、この問題を巡る与野党の攻防は、今後も続く見通しです。

【鈴木】 ここまで佐川氏の証人喚問についてお伝えしました。